

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
一般	06	01	05	16426001	農村施設維持事業		
総合計画	分野	しごと					
	政策	1-4	観光の振興				
	施策	1	観光の魅力向上				
目的	農村施設の快適な利用及び観光客を対象に農畜産物の消費拡大を図るための環境整備						
対象	農村施設						
意図	施設の長寿命化を図り、施設利用者の安全・安心を確保する						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること							
○農村施設の現況把握 ○改修を必要とするか、修繕で対応するか等の検討 ○施設の耐用年数を延ばす大規模改修の時期の検討 ○農村施設の大規模改修の実施							
市民参画の有無 [対象外]							
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛		補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）			単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	施設改修工事件数		件	計画		-	
				実績		1	
②				計画			
				実績			
③				計画			
				実績			
成果指標（上記「意図」に対応）			単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①				目標			
				実績			
②				目標			
				実績			
③				目標			
				実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
/		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・市が所有する施設であり、主体的に維持管理を実施する必要性がある。
	<input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・大規模改修を行うことにより長寿命化が図られ、ある程度の補修の抑制が期待できる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・現場の実態に合わせた工法等を検討しており、現場によっては代替性が乏しいことから、削減の余地はない。また、限られた人員の中で現場等との調整を図る必要性があり、人件費についても削減の余地はない。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・施設利用者の安全、安心の確保のために行う維持管理であることから適正である。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
観光客等の施設利用者の安全、安心を確保するため、施設の現況を把握し、老朽化による破損及び危険箇所等については改修を進める必要がある。 また、施設の効率的運営のため、適切な維持管理により施設の長寿命化を図ることができた。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	06	01	05	16426001	農村施設維持事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		38,756	21,511		△ 17,245
財源内訳	国・県				
	地方債	38,700	21,500		△ 17,200
	その他				
	一般財源	56	11		△ 45

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標
観光資源の充実と発信力を高め、交流人口の拡大と観光客満足度の向上を図ります。

事業開始の背景・経緯
○観光客に対するおもてなしの向上を図るため、観光施設の良好な維持管理を行う必要がある。
○観光施設の経年劣化があり、長寿命化を図る大規模改修の必要がある。

事業概要
○農村施設の現況把握
○改修を必要とするか、修繕で対応するか等の検討
○施設の耐用年数を延ばす大規模改修の時期の検討
○農村施設の大規模改修の実施

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
改修にあたり、施設利用への影響を極力減らすよう配慮が必要である。

担当部署 部名 大迫総合支所 課名 地域振興課 担当係長 吉田幸弘 内線 920-165 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【現状】

施設の経年劣化による老朽化
・雨漏りの発生
・設備等の老朽化による破損

・観光客のイメージ悪化
・施設利用者の満足度低下
・安全、安心への懸念



小規模修繕での対応

⇒対応完了

小修繕での対応が不可
小修繕対応では後年度に負担増

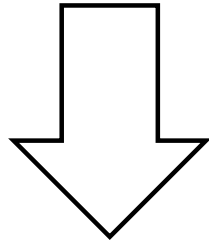


【大規模改修の実施】

H28 ○森のくに屋根改修工事 21,511千円



完成2月3日



おもてなし向上